

| |
|-------------------|
| 中期目標の達成状況に関する評価結果 |
|-------------------|

| 申立ての内容 | 申立てへの対応 |
|---|--|
| <p>【評価項目】 ≪判定結果一覧表≫ (Ⅱ) 研究に関する目標</p> <p>【原文】 おおむね良好</p> <p>【申立内容】 研究については、以下2つの中項目があり、以下のような構成となっている。 () 内は、「評価作業マニュアル」25ページ以降に記載されている判定基準に従って計算した点数となっており、中項目①②の平均をとると、2.63となり、平均値が2.6以上、かつ、“不十分”の判定もないため、大項目の判定は“良好”になるのではないか。</p> <p>中項目① 良好 (3.0) 小項目1 良好 (3) 計画2-1-1-1 良好 (3) 計画2-1-1-2 良好 (3)</p> <p>中項目② おおむね良好 (2.25) 小項目1 良好 (2.75) 計画2-2-1-1 良好 (3) 計画2-2-1-2 おおむね良好 (2) 計画2-2-1-3 良好 (3) 計画2-2-1-4 良好 (3) 小項目2 おおむね良好 (2) 計画2-2-2-1 おおむね良好 (2) 計画2-2-2-2 おおむね良好 (2) 計画2-2-2-3 おおむね良好 (2) 計画2-2-2-4 おおむね良好 (2) 小項目3 おおむね良好 (2) 計画2-2-3-1 おおむね良好 (2)</p> | <p>【対応】 原案のとおりとする。</p> <p>【理由】 意見の内容は、評価作業マニュアルに定めた方法に関するものであり、申立ての対象としない。</p> |

なお、「評価作業マニュアル」には、小数点以下を「切り捨てる」とは、明確に記載されておらず、判定の基準では小数点第1位まで入っており、小項目の例示でも小数点第1位まで記載されている。それなのに、以降で小数点以下を切り捨てるなら、一貫性が失われ、基準とも矛盾するのではないか。仮に、切り捨てるとすれば、小項目から中項目、中項目から大項目へと積み上げるほど、評価は低い点数に誘導されることになり、（もちろん、大学は全ての計画で“良好”をとれるよう努力すべきであるが）項目数や計画数が少ないほど点数は高くなりやすいことになる。公平で適切な評価をお願いしたい。

なお、評価方法の提案であるが、大学の6年間の努力の成果を評価方法の簡素化・効率化等の理由から、小項目、中項目で区切るかのように小数点以下を切り捨てるのではなく、評価値を積み上げていき、最後の大項目で少数点以下を切るような評価方法が厳正で公平な方法と考えられる。対応をお願いしたい。